

(5) 指導の結果

- ① 中心的话题を事前に印刷し準備しておいたため、作業をスムーズに進められた。
- ② 文の役割についてほとんどの班が見抜くことができ、文の中の接続詞や特徴ある文末表現などにも気づくことができた。
- ③ 文や段落の役割に関しては、表現の仕方は多岐にわたっていたが、話し合いや授業者の支援によって、修正したりする姿が見られ、最終的にはそれぞれの役割や関係を把握することができていた。

【検証授業2】

(1) 題材名 「金星大気の教えるもの」 (6/7時)

(2) 本時のねらい

筆者の文章の構成や表現上の特徴を生かし、意見文を書くことができる。

(3) 授業仮説

筆者の文章表現上の特色をとらえて、それが文章を構成していくための有効な手立てであることに気づき、筆者の用いた文頭や文末の表現を取り入れながら作文することによって、論理的な文章が書き表せるであろう。

(4) 指導の実際

授業者が設定した「枠組み」をもとに意見文を書かせる。テーマは自由だが、自分で決められない生徒には、新聞や雑誌の記事の中から興味関心のある事柄を選び、テーマを決定させた。また、そのためのワークシートを準備し、活用させるよう配慮した。

設定した枠組みは、すべて使わねばならないわけではなく、どれを使用するかという点については、柔軟性を持たせた。

作文については、20分という時間内で書かせ、自己評価させた。

(5) 指導の結果

- ① 自分のテーマを決めるまでに時間がかかることを想定し、事前に考えさせておいたので、思いの外、テーマ決定までの時間は少なくすんだ。生徒は、これまでも新聞を使った内容要約の学習などを行ったことがあり、それも彼らの活動を助けたと思われる。(資料2)

《テーマ設定のためのワークシート》(資料2)

<p>生ゴミの 堆肥化</p> <p>「構想」</p>	<p>環境問題</p> <p>・家庭の 減量</p> <p>・食への 関心</p> <p>・安全性</p>	<p>テーマ設定のた めのポイント</p>	<p>テーマ</p> <p>生ゴミの再利用</p> <p>三年(二)組(五十番) 氏名()</p> <p>社会や文化のあり方について、意見文を書こう</p>
<p>新聞や雑誌の切り抜き記事(貼付)</p> <p>——線を引いたり、要点を上段に抜き出す</p>		<p>市民の台所に安全な食品</p>	
<p>「物で還元」</p> <p>プラン</p> <p>計画では、堆肥化施設に 市の約半数の約四千五百世 帯が生ゴミを集め、家畜 糞尿と混ぜて堆肥にする 予定だが、堆肥化施設に それを運ぶには有償作業 が必要で、市民の負担が 大きい。そこで、家庭の 減量を推進したい。化 学肥料の削減は、家庭の 負担を軽減する。また、 堆肥化施設に生ゴミを 運ぶ費用を削減する。レ インボンプランは市 民参加の会や研究会 を数10回開催して作 られた。</p>			

- ② 周囲の生徒と「枠組み」の使い方や意見の述べ方について、互いに検討し合う姿も見られた。また、「枠組み作文」については過去に実施した経験をもつので、その使い方については、あまり疑問は出なかった。

3 考察

(1) 意見文の分析結果について

「枠組み」に無理なく自分の表現を当てはめていった結果として、問題提起や意見の叙述がより確実になった。また、題材に関しても、事前の準備によって身近な話題に着目しテーマを決定することができた。(資料3)